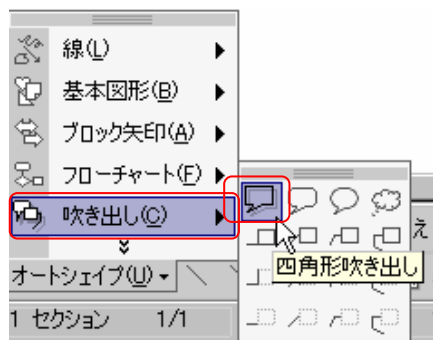


14. オートシェイプ

14.1 オートシェイプの起動と挿入

図形描画のツールバーの[オートシェイプ]ボタンから選択します。



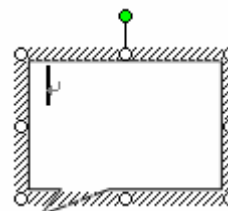
図形描画のツールバーが表示されていないときはツールバーの(図形描画)ボタンをクリックします。

またはメニューバーの[表示]→[ツールバー]→[図形描画]を選択します。



(A) 標準の形状で挿入する方法

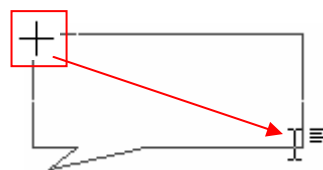
吹き出しアイコンをクリックするとマウスポインタが「+」に変わります。挿入したいところで**クリック**すると、標準の大きさで挿入されます。



(B) 適当な大きさに挿入する方法

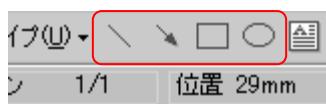
吹き出しアイコンをクリックするとマウスポインタが「+」に変わります。自分で大きさを指定するには、挿入したい大きさに**ドラッグ**します。

[Shift]キーを押しながらドラッグすると、標準の形状の縦横比を保った形状で挿入できます。



その他の形状

下図のボタンで直線、矢印、四角、円を使用できます



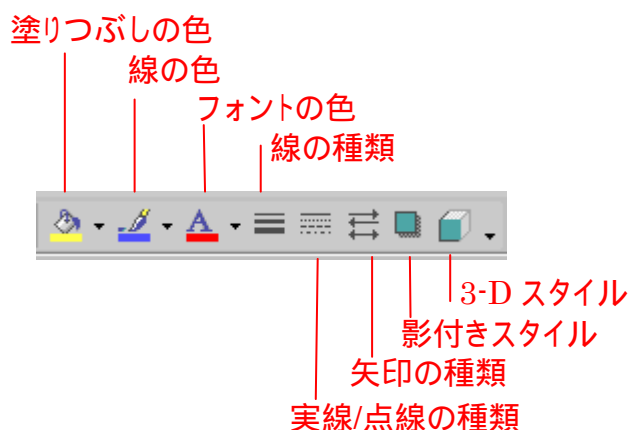
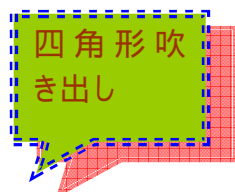
[直線]と[矢印]は開始位置から終了位置までドラッグして描画します。

[四角]と[円]は挿入したい部分で、クリックすると、標準の大きさで挿入でき、マウスポインタが「+」に変わったところでドラッグすると適当な大きさにできます。

14.2 オートシェイプの書式設定

(A)図形描画ツールバーを使う場合

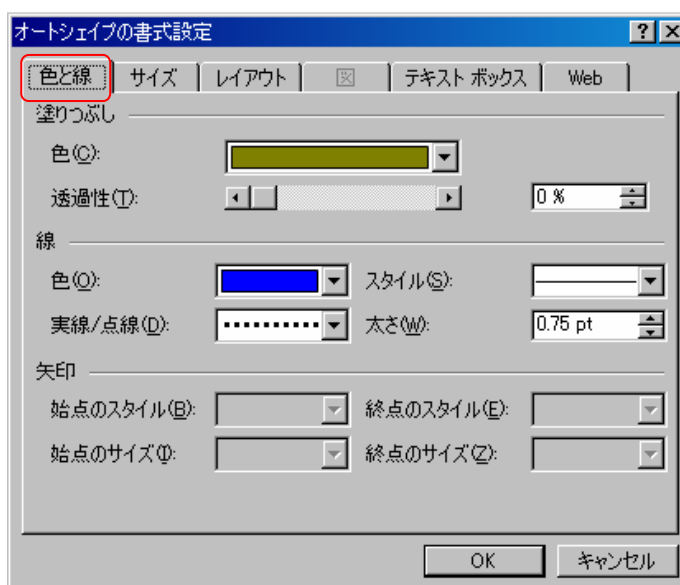
(注意) [影付きスタイル]と[3-Dスタイル]は同時に指定できません。各ボタンからの設定例です。



(B)書式設定ダイアログから変更する場合

オートシェイプの書式設定のダイアログの表示は、

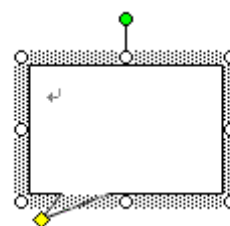
1. オートシェイプの**枠部分**をダブルクリックします。
2. オートシェイプを選択した状態(**枠部分**をクリック)で、メニューバーの[書式][オートシェイプ]を選択します。
3. オートシェイプの**枠部分**を右クリックして、[オートシェイプの書式設定]を選択します。



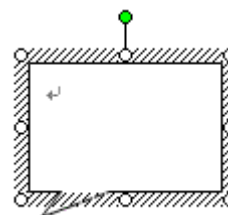
[色と線]のタブをクリックし、『塗りつぶしの色』、『線』などの設定をします。

14.3 影つきスタイル

オートシェイプの枠線部分にカーソル移動するとカーソルの形状が十字矢印に変化します。その状態でをクリックすると選択できます。(右図のように白丸付きで点状の網の目の枠がついた状態になります。W2000は白四角)



(注意)内部をクリックすると内部のテキストを選択した状態になり、枠が斜線になってしまいます。右図参照



図形描画のツールバーの[影付きスタイル]ボタンをクリックします。表示されたスタイルから選択します。

選択したスタイルの影がつきます。



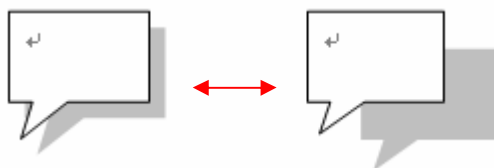
影の位置を微調整します。

1. オートシェイプを選択した状態にします。
2. 図形描画のツールバーから[影付きスタイル]を選択し、[影の設定]を選択します。
3. [影の設定]ツールバーが表示されます。

影の微調整ボタンをクリックすると、影の位置を微妙に動かすことができます



影の位置を微調整した例です

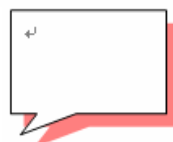


影の色の設定例

1. オートシェイプを選択した状態にします。
2. 図形描画のツールバーから[影付きスタイル]を選択し、[影の設定]を選択します。
3. [影の設定]ツールバーが表示されます。

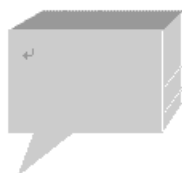
[影の設定]ツールバーの[影の色]を選択し、出てきたカラーパレットから色を選択します。

影の色を(赤)にした例です。

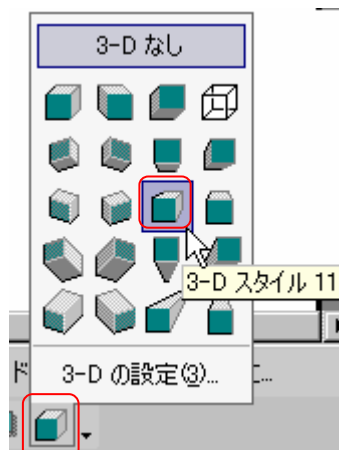


14.4 3-D 効果

オートシェイプを選択した状態にします。
 図形描画のツールバーから[3-D スタイル]ボタンをクリックし、スタイルを選択します。



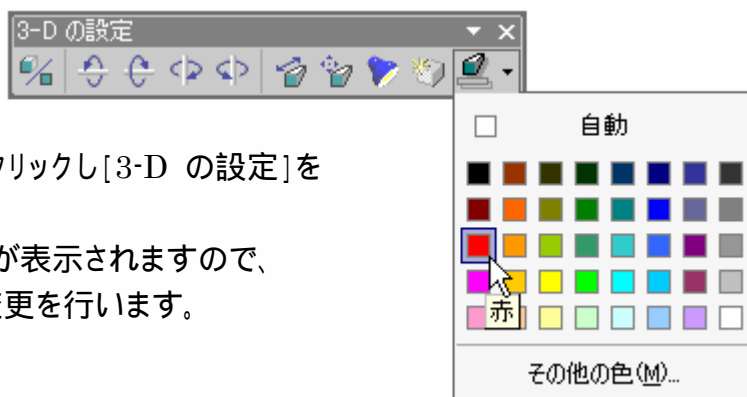
吹き出しが 3-D になりました。



細かな変更を行うには、
 [3-D の設定]を使います。
 図形描画のツールバーから[3-D スタイル]ボタンをクリックし[3-D の設定]を選択します。
 [3-D の設定]ツールバーが表示されますので、このツールバーで詳細な変更を行います。



[3-D の色]を赤に設定した例です。

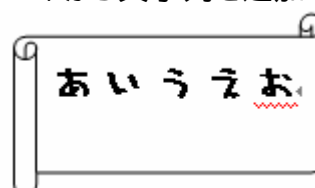
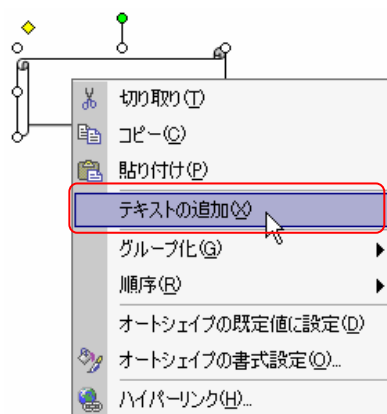


14.5 文字を入れる

吹き出しなど、文字が入るのが前提のオートシェイプはクリックするとカーソルが表示され、すぐ入力できますが、それ以外のものは、オートシェイプ上で**右クリック**して出てきたメニューから[テキストの追加]を選択します。

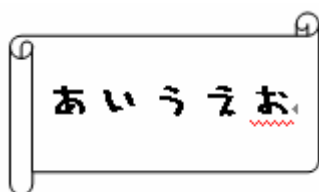
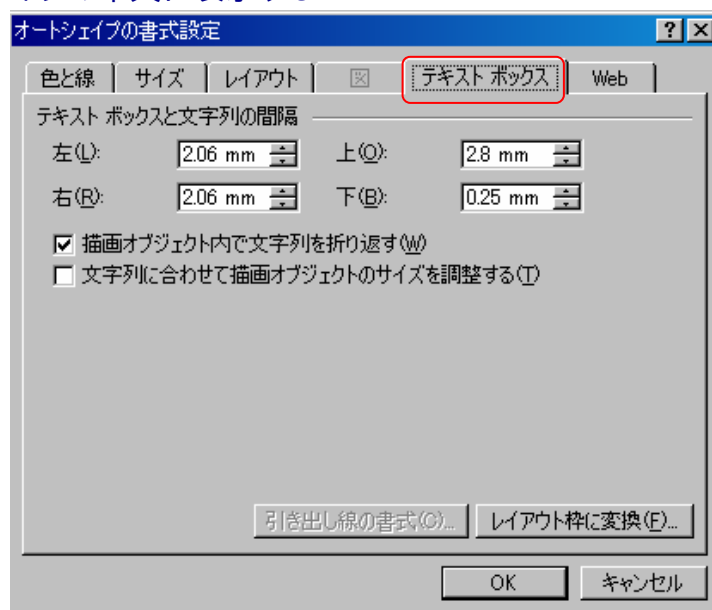
オートシェイプ内にカーソルが表示されますので、キーボードから文字列を追加します。

四角、丸、矢印、星とりボン、フローチャートなどが対象になります



14.6 文字の位置をオートシェイプの中央に表示する

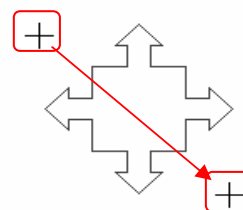
オートシェイプの枠の部分にカーソルを移動すると十字の矢印にカーソルが変化します。その状態でダブルクリックすると、[オートシェイプの書式設定]ダイアログ表示されます。[テキストボックス]タブの『テキストボックスと文字列の間隔』を適当な値に変更します。



左図は[上]を[2.8mm]に設定しました。テキストが中央に表示されています。

14.7 基本の形状を崩さないように拡大/縮小する

オートシェイプを挿入するとき、(Shift)キーを押しながらドラッグします。または、オートシェイプを挿入するとき、マウスポインタが[+]の時クリックすると基本形状で挿入されます。



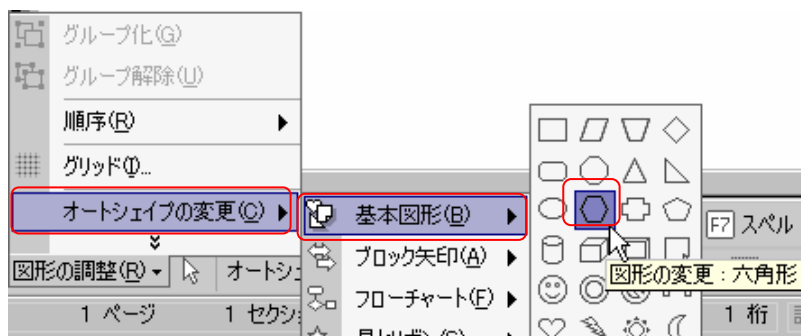
14.8 元の形状を保ったまま拡大 / 縮小する

オートシェイプを拡大/縮小するとき、(Shift)キーを押しながらドラッグします。元の形状で縦横の比率を保ったまま拡大/縮小できます。

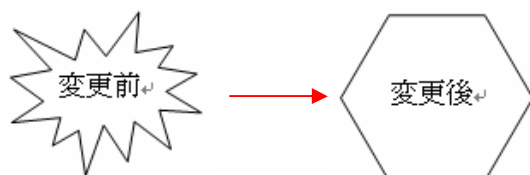


14.9 オートシェイプの形状を後から変更する

オートシェイプを選択します。
図形描画のツールバーの[図形の調整]→[オートシェイプの変更]→[⋯]と変更後の形状を選択します。



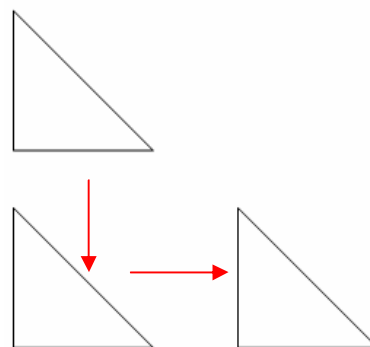
オートシェイプが変更されました。



14.10 オートシェイプを縦横方法に並べてコピーする

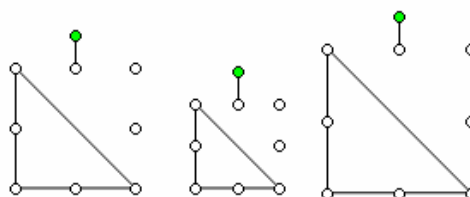
垂直、水平方向へ動かすには[Shift]キーを押しながらドラッグします。
コピーするには、[Ctrl]キーを押しながらドラッグします。

この2つの動作を同時に行ないます。
[Shift]+[Ctrl]キーを押したままオートシェイプをドラッグします。
縦横方向に並べて、コピーできます

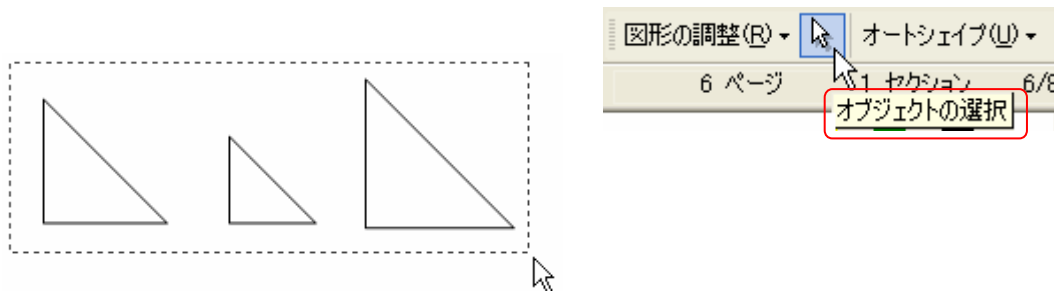


14.11 オートシェイプのサイズをそろえる

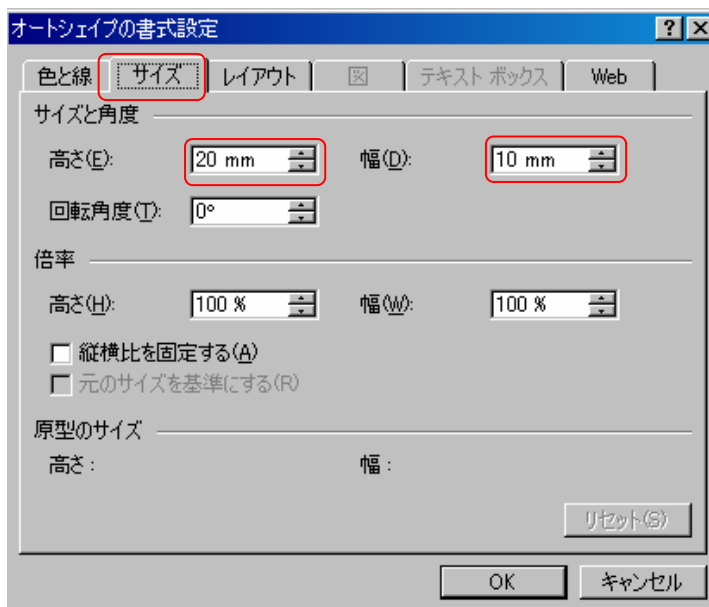
大きさの異なるオートシェイプを横に3個作成し、後でこれらのサイズを揃えます。
オートシェイプ3個をまとめて選択します。
[Ctrl]キーを押しながら、それぞれをクリックして選択します。(Word2002から)
または、[Shift]キーを押しながらクリックする



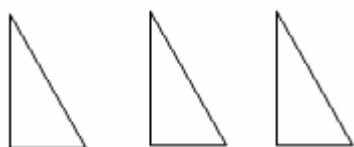
または、[オブジェクトの選択]をクリックし(カーソルが白の矢印になります)、選択するオートシェイプをドラッグして囲んで選択します。



メニューバーの【書式】→【オートシェイプ】を選択します。
表示された【オートシェイプの書式設定】ダイアログの【サイズ】タブを選択します。
ここでは、[高さ]を[20]に
[幅]を[10]しました。



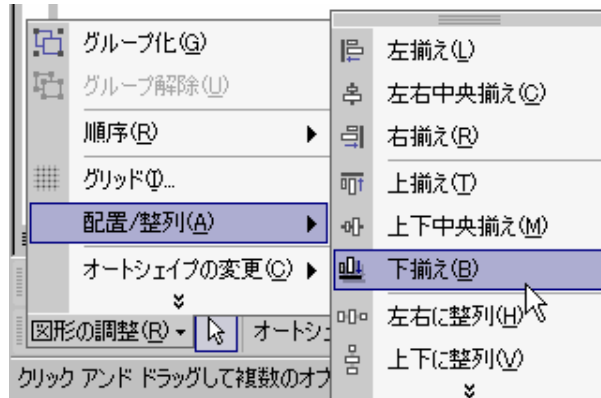
3 個のオートシェイプのサイズが揃いました。



14.12 オートシェイプの位置をそろえる

オートシェイプ 3 個をまとめて選択します。

[図形の調整] ボタンをクリックし、[配置/整列] → [下揃え] を選択しました。



3 個のオートシェイプが下揃えで配置できました。

